学校番号	T4001

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育 d②	単位数	１単位	年次	１～４
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は全年次が選択できる科目となっており、男女共修の１単位の科目になります。この科目を通じて運動の楽しさを味わうとともに、様々な年齢の生徒と協力し、交流しましょう。
・運動の得意・不得意は必ずあると思います。その中で互いに支えあい、教えあいながら楽しい体育の授業にしていきましょう。
・わからないことやできないことはそのままにするのではなく、担当の先生や仲間にアドバイスを求め、何事にも挑戦しましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期は実施しない						
後期（１０月～）	体つくり運動	オリエンテーション ラジオ体操【第一】 新体力テスト 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動	a:体を動かす楽しさや心地よさを味わい,運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などを理解している。健康の保持増進や体力の向上を目指し,目的に適した運動の計画を立て取り組むことを理解している。（知識） ・手軽な運動を行い，心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付くことができる。仲間と自主的に関わり合うことができる。（運動） b:自己や仲間の課題を発見し,合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c:体つくり運動に自主的に取り組もうとしている。互いに助け合い教え合おうとしている。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。話合いに貢献しようとしている。健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート
後期（１０月～）	陸上競技	５０ｍ走 走り幅跳び	a:記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解している。（知識） ・短距離走では，中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることができる。走り幅跳びでは,スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。（技能） b:動きなどの自己や仲間の課題を発見し,合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。自己の考えたことを他者に伝えている。 c:自主的に取り組むとともに,勝敗などを冷静に受け止め,ルールやマナーを大切にしようとしている。自己の責任を果たそうとしている。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート

後期（11月）	球技	バドミントン	【バドミントン】 a:勝敗を競う楽しさや喜びを味わい,技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解することができる。（知識） ・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる（技能） b:攻防などの自己やチームの課題を発見し,合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c:種目に自主的に取り組むとともに,フェアなプレイを大切にしようとしている。作戦などについての話合いに貢献しようとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。互いに助け合い教え合おうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート
後期（12月）	球技	インディアカ	【インディアカ】 a:勝敗を競う楽しさや喜びを味わい,技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解することができる。（知識） ・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる（技能） b:攻防などの自己やチームの課題を発見し,合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c:種目に自主的に取り組むとともに,フェアなプレイを大切にしようとしている。作戦などについての話合いに貢献しようとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。互いに助け合い教え合おうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート

後期（1・2月）	体育理論	スポーツ推進のための施策と諸条件	a: 国や地方自治体は，スポーツの推進のために様々な施策を行っており，人や財源，施設や用具,情報などを人々に提供するなどの条件整備を行っていること，また，スポーツの推進を支援するために,企業や競技者の社会貢献，スポーツボランティアや非営利組織（NPO 等)などが見られるようになっていることを理解できる。（知識） b: 豊かなスポーツライフの設計の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えている。 c: 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート
後期（1・2月）	体育理論	豊かなスポーツライフが広がる未来の社会	a: スポーツを，人生に潤いをもたらす貴重な文化的財産として未来に継承するためには,スポーツには健康で生き生きとした生活をもたらしたり,様々な人々とつながったりするなどの可能性がある反面,過度な運動による健康への悪影響や勝利を優先する余り人間関係を悪化させるなどの問題点があることを理解できる.人生に潤いをもたらす適切な関わり方を継続するためには,「する」だけでなく,豊かなスポーツライフを実現するための「みる」，「支える」，「知る」などの卒業後のスポーツへの多様な関わり方を構想したり,設計したりすることが重要であることを理解できる。(知識) b: 豊かなスポーツライフの設計の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えている。 c: 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度